

# みずほマーケット・トピック(2019年11月1日)

## 週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料  
 ※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

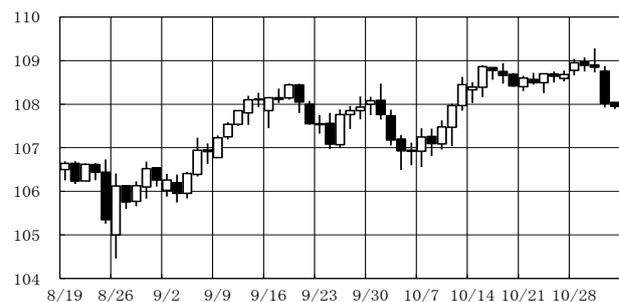
### 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週末に急落する展開。週初 28 日に 108 円台後半でオープンしたドル/円は、ライトハイザー USTR 代表と中国の劉鶴副首相が貿易協議につき最終決着に近づいていると示唆したことに加え、トランプ米大統領が中国との合意署名が予定より早く進んでいると発言し、米中交渉の進展期待が広がると、米金利の上昇幅拡大や、S&P500 種株価指数が史上最高値を更新する動きにサポートされ、8 月以来となる 109 円台に到達。29 日は米中交渉につき、APEC で第 1 段階合意に調印しない可能性もあるとの報道で値下がるも、翌日の FOMC を控え方向感の無い推移となった。30 日は米 7~9 月四半期 GDP の予想以上の結果が好感され、109 円付近まで上昇した後、FOMC では、予想通り▲25bp の利下げが決定した一方、利下げの打ち止めが示唆され、一時週高値の 109.28 円をつけた。31 日は中国 10 月製造業・非製造業 PMI が弱かったことが嫌気され、じり安の展開。その後、米中協議につき中国側が長期的な通商合意に懐疑的との報道で一時週安値の 107.92 円まで下落。その後も上値の重い推移が続き、本日も 108 円付近での推移が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は週後半に急騰する展開。週初 28 日に 1.10 台後半でオープンしたユーロ/ドルは、EU が 1 月末までの英離脱期限延期で合意し、10 月末の合意無き離脱が回避されたことで上昇したポンドに連れ高となり、1.11 台を上抜けた。その後、米中交渉の期待感からドル高が進み反発するも、リスクオンの円売りに上昇するユーロ/円にサポートされ、底堅く推移した。29 日は、じり安で推移する中、英国の早期総選挙実施に期待が高まり、ポンドの連れ高となり 1.11 台を回復した。30 日は FOMC を控え、仏 7~9 月四半期 GDP や独 9 月 CPI の予想以上の結果が好感されるも、米 GDP の結果が上値を抑える形となり、1.11 台前半を推移した。FOMC 後は、ドル買いが強まり、一時 1.11 を割り込むも、米金利低下を受けたドル売りで 1.115 台まで急反発した。31 日は、前日に続き FOMC 後のドル売りで一時週高値の 1.1175 まで上昇したが、米中協議を巡る報道でユーロ/円に連れ安となると、米株の大幅安となりリスクオフの展開となる中、1.11 台前半まで下落した。本日は米雇用統計の発表を控え、1.11 台半ばでの小幅推移が続いている。

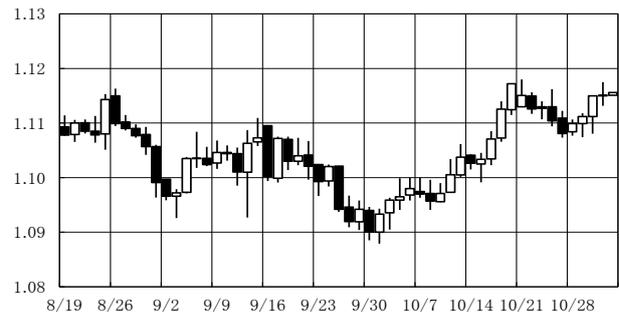
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		10/25(Fri)	10/28(Mon)	10/29(Tue)	10/30(Wed)	10/31(Thu)	
ドル/円	東京9:00	108.62	108.74	108.97	108.88	108.80	
	High	108.77	109.04	109.07	109.28	108.91	
	Low	108.52	108.66	108.75	108.72	107.92	
	NY 17:00	108.68	108.95	108.89	108.85	108.02	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1104	1.1084	1.1098	1.1112	1.1153	
	High	1.1123	1.1107	1.1118	1.1151	1.1175	
	Low	1.1073	1.1076	1.1074	1.1080	1.1132	
	NY 17:00	1.1081	1.1099	1.1112	1.1150	1.1151	
ユーロ/円	東京9:00	120.60	120.51	120.93	120.97	121.35	
	High	120.79	120.97	121.05	121.40	121.46	
	Low	120.37	120.46	120.58	120.89	120.30	
	NY 17:00	120.41	120.96	120.95	121.36	120.42	
日経平均株価	22,799.81	22,867.27	22,974.13	22,843.12	22,927.04		
TOPIX	1,648.44	1,648.43	1,662.68	1,665.90	1,667.01		
NVダウ工業株30種平均	26,958.06	27,090.72	27,071.42	27,186.69	27,046.23		
NASDAQ	8,243.12	8,325.99	8,276.85	8,303.98	8,292.36		
日本10年債	-0.15%	-0.14%	-0.11%	-0.12%	-0.14%		
米国10年債	1.79%	1.84%	1.84%	1.77%	1.69%		
原油価格(WTI)	56.10	55.81	55.54	55.06	54.18		
金(NY)	1,506.00	1,495.80	1,490.70	1,496.70	1,514.80		

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、今晚1日(金)に10月雇用統計と10月ISM製造業景気指数が発表される。雇用統計については、9月の非農業部門雇用者数が前月比+13.6万人と8月(同+16.8万人)から減速、市場予想(同+14.5万人)も下回った。平均時給も前年比+2.9%と市場予想(8月から横ばいの同+3.2%)からの下振れが目立った。失業率(9月は3.5%)が50年ぶりの水準にあり、ほぼ完全雇用状態にあるとみられるなか、雇用者数の増加数は鈍化傾向にある。10月の非農業部門雇用者数は前月比+8.5万人と市場ではみられている。米自動車大手で9月中旬より始まったストライキの影響(非農業部門雇用者数を4万人程度下押しする)を考慮すれば、増加数は9月比でやや減少が想定されていることになる。もっとも、製造業の雇用増加数の鈍化が非製造業のそれにどの程度波及しつつあるかによって、市場予想からの下振れもありえよう。9月ISM非製造業・雇用指数は50.4と、2014年以來の50割れも視野に入りつつある。なお、10月のISM製造業景気指数については48.9と9月(47.8)から改善すると市場では予想されている。10月には米中閣僚協議が再開、通商問題では暫定合意に至った結果、10月15日に予定されていた対中追加関税第1~3弾の税率引き上げは見送られた。ISM製造業景気指数において、米中貿易戦争の影響が色濃く表れているとみられる新規受注(9月:47.3)やその補助項目である輸出受注(同:41.0)の改善が期待されているようだ。もっとも、ヘッドラインベースでは50を下回る「縮小」超の状況に変わりはない。引き続き、非製造業への波及度合いが注目される。5日(火)に発表される10月ISM非製造業景気指数について、市場では53.4と9月(52.6)から改善が予想されている。金融政策関連では、今晚1日(金)にカプラン・ダラス連銀総裁やクラリダ理事、デーリーSF連銀総裁の講演のほか、クウォールズ理事やウィリアムズNY連銀総裁がイベントに参加する。5日(火)はカプラン・ダラス連銀総裁やカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が講演する予定。また、6日(水)にはエバンス・シカゴ連銀総裁の講演のほか、ウィリアムズNY連銀総裁やハーカー・フィラデルフィア連銀総裁のイベントへの参加が予定されている。このほか、7日(木)にはカプラン・ダラス連銀総裁やボスティック・アトランタ連銀総裁、デーリーSF連銀総裁が講演する予定。

	本 邦	海 外
11月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月失業率</li> <li>・9月有効求人倍率</li> <li>・10月製造業PMI(確報)</li> <li>・10月自動車販売台数</li> <li>・展望レポート(全文)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米10月雇用統計</li> <li>・米10月製造業PMI(確報)</li> <li>・米10月ISM製造業景気指数</li> <li>・米9月建設支出</li> <li>・米10月自動車販売台数</li> </ul>
4日(月)	休場(文化の日、振替休日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独10月製造業PMI(確報)</li> <li>・ユーロ圏10月製造業PMI(確報)</li> <li>・米9月耐久財受注(確報)</li> </ul>
5日(火)	・10月マネタリーベース	・米9月貿易収支
6日(水)	-----	・独9月製造業受注
7日(木)	-----	・独9月鉱工業生産
8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月毎月勤労統計</li> <li>・9月景気動向指数(速報)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米11月ミシガン大学消費者マインド指数(速報)</li> <li>・米9月卸売在庫(確報)</li> </ul>

### 【当面の主要行事日程(2019年11月~)】

日銀金融政策決定会合(12月18~19日、1月20~21日、3月18~19日)  
 ECB政策理事会(12月12日、1月23日、3月12日)  
 米FOMC(12月10~11日、1月28~29日、3月17~18日)

市場営業部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年10月30日	ラガルド新ECB総裁を巡る3つの論点
2019年10月29日	円安リスクの点検 - 欧州・中国の復調はあるか? ~
2019年10月28日	ドラギ総裁最後のECB理事会 - 危機の「生き字引」~
2019年10月25日	週末版
2019年10月24日	またも史上最小値幅 - 体感「5円」以下という異例~
2019年10月23日	「リブラ」阻止で一致するG20 - ザッカーバーグ証言を前に~
2019年10月21日	思い出したい「10月31日」の経緯 - 次に起こることは~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年9月分)
2019年10月18日	週末版(2度目の離脱協定案合意 - 3つの論点を整理~)
2019年10月16日	FRBのTB購入を受けて - 欲しかった「ずる賢さ」~
2019年10月11日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて - 議論紛糾の読み方、議事要旨としては秀逸~)
2019年10月10日	円相場の需給環境について - 縮小均衡~
2019年10月9日	FRBの資産購入再開と懐かしのソロスチャート
2019年10月8日	揺らぐリブラ計画 - 初のメンバー脱退表明を受けて~
2019年10月7日	米9月雇用統計を受けて - 「思ったより悪くない」の危うさ~
2019年10月4日	週末版(製造業から非製造業への波及は始まったのか - ISM景気指数の悪化を受けて~)
2019年10月3日	ユーロ圏の物価情勢の現状と展望 - 日本化の過渡期?~
2019年10月2日	ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか?
2019年9月27日	週末版(三度起こった「ドイツの乱」 - ラウテンシュレガーECB理事辞任の読み方~)
2019年9月26日	円安リスクの点検 - 財政政策というアップサイドリスク~
2019年9月25日	為替相場の現状を概観する - REERを通して見えること~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年8月分)
2019年9月24日	「羊頭狗肉」化するマイナス金利政策
2019年9月20日	週末版(日米金融政策決定会合を受けて - 9月乗り切る日銀の難局は続く~)
2019年9月17日	「原油高 & 円安」が重荷になる日本経済
2019年9月13日	週末版(ECB政策理事会レビュー - 出尽くし懸念強まるパッケージ緩和~)
2019年9月11日	均衡イメージが変わらない円の基礎的需給環境
2019年9月10日	日銀会合プレビュー - 9月の一手と利下げの行方~
2019年9月6日	週末版(ECB政策理事会プレビュー - APP再開は困難だが、露払いはいはしたいところ~)
2019年9月5日	プレグジットを巡る論点整理 - ボンド/ドルは1.20割れ定着か~
2019年9月4日	米企業心理とドル相場の関係 - ISM悪化を受けて~
2019年9月3日	リブラを全否定したメルシュ講演 - 不安はどこに~
2019年9月2日	消えない米国のドル売り介入観測について - 諸刃の剣~
2019年8月30日	週末版
2019年8月29日	ユーロ圏投資ファンド統計に見るポートフォリオバランス効果
2019年8月27日	円安リスクの点検 - 警戒すべきトランプ減税第二弾~
2019年8月26日	円高・ドル高という地合い - 105円割れを受けて~
2019年8月23日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて - 9月のパッケージ緩和が濃厚に?~)
2019年8月22日	FOMC議事要旨を受けて - 「調整」の誘惑、日銀の経験~
2019年8月21日	ドイツのIS/バランスは遂に変わるのか?
2019年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分)
2019年8月19日	YCC、捨てる日銀と拾うECB
2019年8月16日	週末版(2019年上半期の対米証券投資について - 下期以降の景色は半分変わりそう~)
2019年8月15日	ドイツに引きずられるユーロ圏経済
2019年8月14日	中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか?
2019年8月13日	ドル高止まりによる引き締め効果 - 利上げ17回分?~
2019年8月9日	週末版
2019年8月6日	遂に突破した「1ドル=7.0円」 - 対抗措置としての元安~
2019年8月5日	米7月雇用統計を受けて - 趨勢的な鈍化は明らか~
2019年8月2日	週末版(何の意味もなかったパウエル議長の失言 - トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)
2019年8月1日	FOMCを終えて - 「1歩譲れば100歩求める」~
2019年7月31日	日銀金融政策決定会合 - 流行りの「予防的緩和」~
2019年7月30日	円安リスクの点検 - 英の再国民投票復活などがリスク~
2019年7月29日	ECB政策理事会レビュー - 見どころの整理~
2019年7月26日	週末版
2019年7月25日	リブラと金融政策 - 新興国と信用創造に対する影響~
2019年7月24日	「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年6月分)
2019年7月22日	ECB政策理事会プレビュー - 「目標見直し」は大事業~
2019年7月19日	週末版(実質実効為替相場の現状と展望 - 「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて~)
2019年7月18日	本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか?
2019年7月17日	欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方
2019年7月16日	株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀
2019年7月12日	週末版
2019年7月5日	週末版
2019年7月3日	ラガルドECB総裁就任の読み方
2019年7月2日	日銀短観の読み方 - 「底入れ」は確認できず~
2019年7月1日	大阪G20を終えて - 円相場を駆動するのは株価ではなく金利~
2019年6月28日	週末版
2019年6月26日	円安リスクの点検 - 大統領選前にトランプは動くか~
2019年6月25日	対外資産・負債残高の近況 - 令和で経験する大きな変化~
2019年6月24日	利下げ期待とドル/円相場の関係 - 「98年型利下げ」としても~
2019年6月21日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて - 「ドル高の修正」という大きな潮流~)
2019年6月20日	FOMCを終えて - 「鏡に映った自分」に怒り続ける大統領~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年5月分)
2019年6月19日	為替市場と金利市場の期待格差について
2019年6月14日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー - サプライズがあるとすれば...~)
2019年6月13日	厳しい緩和競争が予想される日欧中銀
2019年6月12日	FRBと金融市場の「接点関係」は持続可能なのか?
2019年6月11日	ユーロ高を警戒し始めたECB - 通貨安欲しさに利下げ?~
2019年6月10日	利下げを促す米雇用・賃金情勢 - 6月利下げも?~
2019年6月7日	週末版(ECB政策理事会を終えて - シントラから2年で振り出しに戻ったECB~)
2019年6月6日	次のカリストとしての中国の外貨準備
2019年6月5日	虚しい「フォワードルッキング」な政策運営
2019年6月4日	ECB政策理事会プレビュー - TLTRO3詳細発表へ~
2019年6月3日	「利下げタイミングを当てるゲーム」が始まりそう
2019年5月31日	週末版
2019年5月29日	米為替政策報告書を受けて - ドル高への不満も~
2019年5月28日	円安リスクの点検 - 円高リスク高まった5月~
2019年5月27日	ECB政策理事会議事要旨 - 衰える基本シナリオの信認~
2019年5月24日	週末版